

令和3年5月1日

【全体の講評（総括）】

中小企業診断士 荒木慎吾

事業評価委員会の各委員の評価とコメントを拝読させて頂き、全体の講評をさせていただきます。まず、「Ⅰ. 経営発達支援事業の内容」については、多くの項目について、各委員が高く評価しています。強いて言えば、「5. 需要動向調査に関すること」「6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること」については、新型コロナウイルスの影響により展示会が中止になった為、評価が低くなったことは止むを得ません。そこで、次年度はオンラインを活用したアンケート収集やオンライン商談会等を検討してください。具体的には、令和2年度は、ひょうご産業活性化センターが主催する「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」に福崎町商工会の会員事業所が参加されました。このイベントは、取引先の増加や融資を受ける等の成果に結びつけるビジネスマッチング、販路開拓、資金調達を目的としています。自社の優れた商品やサービスを販路開拓員、コンサルタント、金融機関の前で発表します。令和2年度、福崎町商工会の会員事業所がオンラインで「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」に参加されたことは、近隣の商工会には無い取り組みでした。こういった取り組みを継続しながら、経営発達支援計画の内容に沿った形で、アンケート収集や商談成約に繋がる可能性もあります。県内の多くの商工会で、オンライン商談会等の活用が課題となっていますので、商工会同士で取り組み内容の情報共有も進めてください。

次に、「Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取り組み」「Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組」については、ほぼ全て項目で、各委員が高い評価をしていますので、次年度もこの取り組みを継続してください。

最後に、福崎町商工会では、経営発達支援計画で設定した目標に対する職員の意識が非常に高く、他の商工会の模範となる取り組みとなっています。小規模事業者持続化補助金の申請件数と採択率も非常に高く、福崎町商工会が主催するセミナーに参加された会員事業所が、自ら事業計画書を進んで作成し、補助金の採択に至るケースも非常に多くなっています。こういった取り組みを、他の商工会にも横展開して頂き、県内商工会のレベルアップに繋がることを、期待しております。どうか今後も引き続き、会員事業所への手厚い支援にあたって頂くことを、切に祈念しております。

以上

令和2年度 経営発達支援事業

事業評価報告書

福崎町商工会

事業評価及び見直しをするための仕組み（計画書 14P）

経営発達支援計画を円滑かつ効果的に進めるために、行政や支援機関等の外部有識者による事業評価委員会を設置し、年1回事業の成果、評価及び見直しを行うとともに、その結果を当会のホームページにより公表し、福崎町商工会の実施する経営発達支援事業の効果的なPDCAサイクルを構築する。

事業評価委員会

区分	所 属	役 職	氏 名
委 員	中小企業診断士		荒木 慎吾
	日本政策金融公庫姫路支店	支店長	久保 幸一
	中小企業大学校関西校	校長	佐藤 浩史
	福崎町地域振興課	課長	成田 邦造
	兵庫県商工会連合会	広域指導センター 統括所長	小林 賢一
	福崎町商工会	会長	谷口 守男
		副会長	大井 克哉
副会長		小幡 八郎	
事務局	福崎町商工会	事務局長	木村 真一
		経営支援課課長	玉越 博充
		経営支援課主幹	安本 直美
		総務課係長	大道 裕子
		経営支援課主事	船田 和夫
		経営支援課主事	中川 竜矢

（評価方法）

- ①事業ごとに設定した数値目標に対する実績並びに実施した内容を明記する。また、実施した事業（セミナー等）に対する参加者からアンケートを取りまとめる。
- ②外部有識者から①を基に事業成果に対する評価・見直し案について提示を受ける。
- ③評価・見直し案作成のうえ、評価委員会にて事業評価を実施。事業見直し案を作成する。

【評価の目安】

A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69%
D：達成率 1～39% E：達成率 0%

（改善方針の決定）

正副会長会において評価・見直し案を提出、改善方針を決定する。

（事業の成果・評価・見直しの結果の報告及び承認）

理事会・総代会に報告し、承認を受ける。

（公表）

商工会ホームページにて事業評価及び見直した事業計画を公表する。

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】(計画書4～5P)

【取組んだ内容】

中小企業景況調査(地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態等諸情報を迅速・的確に収集・提供し、経営改善普及事業の効果的な実施に資するもの)を異なる業種で7事業所を対象に四半期ごとに実施し、分析を行った他、兵庫県・経済雇用情調査や地域金融機関からの景況調査を取りまとめ、経済動向調査レポートとして商工会のホームページに4回掲載した。

また、全国連より取り纏められた調査結果を福崎町商工会ホームページ上にて11回掲載した。

【令和2年度の目標及び実績】

項目	単位	目標	実績
現在行っている調査の取りまとめと分析	回	4	4
兵庫県・経済雇用情勢調査活用	回	4	4
地域金融機関・景況調査活用	回	4	4
上述の調査を福崎町商工会が取りまとめHP及び会報において公表する回数	回	4	6

【評価・コメント】

評価	コメント
A	目標に対して、十分な実績が認められる。経済動向調査レポートには、経済動向のポイントを合わせて作成し、ホームページ上に公開されている。(荒木)
A	目標どおりの実績であり、しっかり取り組んでいる。今後は調査対象社数を増やすことにより、より精度の高い調査を実施することや個別事業者の良好取組事例等をアンケートで収集し、還元することにより事業計画策定へ活用してもらいたい。(久保)
A	目標を達成しており、評価できる。今後とも小規模事業者も活用できる情報提供に努めることを期待したい。(佐藤)
A	コロナによる経営状況を把握するため重要でした。町内の事業所の景気動向の参考にさせていただきました。(成田)
A	定量的には、目標どおり(一部上回る)の実績となりましたので、今後も継続実施をお願いします。定性的には会員に分かりやすい提供方法等の工夫をお願いします。(小林)

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】(5～6P)

【取組んだ内容】

①事業計画策定セミナーの開催

- ・名称：経営革新計画認定のための経営分析・事業計画策定セミナー
- ・日時：令和2年8月19日(水)18:00～20:00(第1回)
- ・場所：福崎町商工会館 2階 多目的ホール
- ・講師：中小企業診断士 荒木 慎吾 氏
- ・参加者：17名(第1回)

経営革新計画認定事業所の事業計画を事例に、経営分析の手法について講義を行った。

また経営課題やアクションプランを明確に把握し事業展開できるよう、経営改善・持続的発展を特に必要とする小規模事業者を対象に巡回・窓口相談を行い、専門家を交え事業計画の策定支援を行った。特に財務面についてヒアリングを行い、SWOT分析をはじめ、商品・サービスを効果的に展開し売上・利益を確保するための支援を行った。具体的には小規模事業者持続化補助金申請支援時に46件、ものづくり補助金申請支援時に7件、がんばる小規模事業者支援事業、技術高度化研究開発支援助成事業支援時にそれぞれ1件ずつ、合計55件の経営分析を行った。

【令和2年度の目標及び実績】

支援内容	目標	実績
経営分析セミナーの開催	開催数 1回 参加者 15名	1回 17名
経営分析目標件数	30件	55件

【評価・コメント】

評価	コメント
A	目標に対して、十分な実績が認められる。セミナー中に、自社の経営分析を行う為のワークの時間を設定した為、経営分析件数の増加にも繋がった。セミナーに参加することで、小規模事業者持続化補助金等の申請件数の増加にも繋がった。(荒木)
A	目標を上回る実績であり、新型コロナ禍においてももしっかり取り組んでいる。専門家を交えての経営改善への取り組みや各種補助金申請等では大きな役割を果たしており、今後も事業者との接点を大切に、取り組みを継続していただきたい。(久保)
A	目標を達成しており、評価できる。特に分析結果を具体的な売上や利益を確保する支援に繋げていることに注目したい。(佐藤)
B	コロナで打撃を受けた事業者の経営分析ができています。集計結果を参考にさせていただいた。(成田)
A	目標を上回る実績となりましたので、今後も継続実施をお願いします。経営分析件数は、目標の2倍近くの実績で評価されます。(小林)

3. 事業計画策定支援に関する事【指針②】(計画書6～7P)

【取組んだ内容】

①事業計画策定セミナーの開催

- ・名称：経営革新計画認定のための経営分析・事業計画策定セミナー
- ・日時：令和2年8月26日(水) 18:00～20:00(第2回)
令和2年9月2日(水) 18:00～20:00(第3回)
- ・場所：福崎町商工会館 2階 多目的ホール
- ・講師：中小企業診断士 荒木 慎吾 氏

- ・参加者：22名（第2回） 15名（第3回）

経営革新計画認定事業所の事業計画を事例に、新規性や独自性、売上・利益増幅のための売上単価、数量の設定等、自社（自身）の経営・事業スタイルを見直し、競争力を高めるために事業計画を作成する必要性について講義を行った。セミナー開催時においては、事業計画策定には至らなかったが、職員によるフォローや個別相談等において作成支援を行っている。

②事業承継セミナーの開催

新型コロナウイルス感染症の影響によりセミナーの開催を中止し個別相談会に切り替えた。5事業所が参加したが、事業計画策定までは至らなかった。

- ・名称：事業承継個別相談会
- ・日時：令和2年9月3日（木）～9月30日（水）の間に8回（計13時間）
令和2年10月1日（木）～10月14日（水）の間に3回（計5時間）
- ・場所：福崎町商工会館1階相談コーナー
- ・対象：経営者、後継者の方（事業承継についてご相談の方）
- ・講師：中小企業診断士 荒木 慎吾 氏
- ・参加者：5事業所

地域商工業の中核を担う若手後継者及び後継者にとって改めて自社の現状を見直し、経営者とともにこれからの理念・方針を考える良い機会となった。中小企業診断士の荒木慎吾氏を招き、主に経営の現状把握を行い、経営者と後継者が事業承継に向けて客観的なデータを基に話し合いができるよう支援を行った。

③創業セミナーの開催

- ・名称：起業チャンスアップセミナー
- ・日時：令和2年11月14日（土）10:00～12:00、13:00～15:00
21日（土）10:00～12:00、13:00～15:00
- ・場所：福崎町商工会館2階研修室
- ・対象：福崎町で起業を目指す方、起業して5年未満の方
- ・講師：兵庫県よろず支援拠点コーディネーター
中小企業診断士 多田 やす子 氏
中小企業診断士 社会保険労務士 川本 久美子 氏
農家のごはんことほぎ 店主 牛尾 祐美子 氏
株式会社日本政策金融公庫姫路支店 融資第二課長 大西 康平 氏
- ・参加者：3名

令和2年中にはセミナー参加者の創業は無かったが、セミナー参加者以外で兵庫県が実施する起業家支援事業助成金の申請に向けた支援を3件実施し、3件とも採択された。

その他、小規模事業者持続化補助金、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金申請者等（41社）に対し事業計画作成支援を行い、計68件の事業計画策定支援を実施した。

【令和2年度の目標及び実績】

項目	年度	元年度	2年度 目標	実績
事業計画策定セミナー開催数	回	1	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	10・0	15	22・0
事業承継セミナー開催数	回	未実施	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	－・0	5	5・0
創業セミナー開催数	回	1	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	5・5	5	3・3
その他事業計画策定件数	件	－	－	65
事業計画策定件数	件	25	25	68

【評価・コメント】

評価	コメント
A	目標に対して、十分な実績が認められる。特に、事業計画策定セミナーでは、経営革新計画の承認企業2社の社長にも登壇して頂いており、非常に有意義なセミナーになった。実際の経営者の話を聞くことで、セミナー参加者のモチベーション向上に繋がり、事業計画策定件数の増加にも繋がった。（荒木）
A	ほぼ目標どおりの実績であり、新型コロナ禍においてもしっかり取り組んでいる。 令和2年度は新型コロナの影響で一部のセミナーを個別相談会に変更するなど対応を迫られたところもあるが、ほぼ目標どおり計画を進めており、新型コロナ禍での事業計画策定支援の大幅な上回りは非常に評価できる。（久保）
A	概ね目標を達成しており、評価できる。特に最終的な目的でもある「事業計画策定件数」に注目したい。（佐藤）
A	目標になかった事業計画の策定が65件もできたことは、商工会の努力・指導の成果ですね。（成田）
A	創業セミナー以外は、全て目標を上回る実績となりましたので、今後も継続していただくようお願いします。事業計画策定件数は、目標の3倍近くの実績で評価されます。強いて言うと、セミナー受講者から事業計画策定に繋げる工夫をお願いします。（稲美町ではセミナー当日に参加者を担当する職員を発表するようです。）（小林）

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】(7～8P)

【取組んだ内容】

令和2年度に事業計画策定した68件及び過年度に策定した14件に対し、策定支援にかかわった職員が延べ87回訪問。計画の進捗状況やその後の課題等の把握を行った。

【令和2年度の目標及び実績】

項目	年度	元年度	2年度 目標	実績
フォローアップ対象事業者数	社	25	25	68
職員による訪問延件数	件	212	100	87

【評価・コメント】

評価	コメント
B	訪問延件数が若干少ないが、全体としては、概ね達成出来ている。(荒木)
B	新型コロナの影響により、職員による訪問件数は目標には達しなかったものの、フォローアップ対象事業者数は増加している。次年度以降の実施体制・方法について、ITの活用や専門家のさらなる活用などの検討を進めていただきたい。(久保)
B	概ね評価できる。対象事業者数あたりの訪問件数にバラツキがあると推察できるが、今後のフォローによる対処に期待したい。(佐藤)
A	フォローアップ、PDCAの検証を引き続きお願いします。(成田)
A	前項の創業セミナー同様、職員による訪問延件数は、コロナ禍の影響で仕方ないと思います。事業計画策定の実績の伸びに伴い、フォローアップ対象事業者数も大きく目標件数を上回っています。職員数が限られ、業務が多様化、多量化しているなかではありますが、今後も継続していただくようお願いします。(小林)

5. 需要動向調査に関すること【指針③】(8~9P)

【取組んだ内容】

事業計画策定支援を行った事業所を対象に店頭等での消費者アンケートを2件実施し、アンケートの分析及び改善計画の策定等事業所支援を行った。商談会(東京ギフトショー)でのアンケート調査も計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により出展を見送ったため、BtoBのアンケートは実施できなかった。

【令和2年度の目標及び実績】

項目	単位	元年度	2年度 目標	実績
①調査対象事業者数(BtoC)	件	未実施	2	2
②調査対象事業者数(BtoB)	件	未実施	2	未実施

【評価・コメント】

評価	コメント
A	新型コロナウイルスの影響により、BtoBのアンケート未実施は止むを得ないが、BtoCアンケートについては、目標を達成出来ている。(荒木)
C	新型コロナの影響で商談会でのアンケートは実施できていないもの

	の、事業所の店頭等でのアンケートは実施された。専門家を交えての分析、フィードバックは評価できる。今後はフィードバック後のフォローアップにより、より活きたアンケートにしていきたい。(久保)
B	事情等を考慮し、左欄の評価とした。(佐藤)
C	コロナ収束後、実施ください。(成田)
B	コロナ禍の影響で、未実施となったことは仕方ないかと思えます。前回の委員長のコメントにありましたように、可能な範囲での実施をご検討願います。中播磨(姫路市商工会)で取り組まれていたオンライン商談会等の活用もご検討ください。(小林)

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】(10~12P)

【取組んだ内容】

11月に予定されていた産業祭については新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

2月に出展予定だったスーパーマーケットトレードショー、東京国際ショナル・ギフト・ショーについては緊急事態宣言発出に伴い、出展を見合わせる形となった。東京国際ショナル・ギフト・ショー出展者には出展に向けてセミナーの開催や2回の個別相談で出展支援を実施した。

【令和2年度の目標及び実績】

項目	単位	元年度	2年度目標	実績
① 展示会・即売会の出展者数	者	2	2	0
② 支援後の月間売上増加額/者	万円	85	10	—
③ 商談会の出展者数	者	2	2	0
④ 成約件数/者	件	0	1	—

【評価・コメント】

評価	コメント
E	新型コロナウイルスの影響により、出展が出来なかった為、止むを得ない。(荒木)
D	新型コロナの影響により出展中止や見合わせがあり、目標には達していないものの、出展に伴うセミナーや個別相談支援を実施しており、次年度以降につながる取り組みとなっている。(久保)
-	(佐藤)
C	コロナ収束後、実施ください。(成田)
B	前項と同様、コロナ禍の影響で、未実施となったことは仕方ないかと思えます。可能な範囲での実施をご検討願います。中播磨(姫路市商工会)で取り組まれていたオンライン商談会等の活用と拡大等もご検討ください。(小林)

II. 地域経済の活性化に資する取り組み (11~12P)

1. 福崎町、地域の金融機関、工業団地に進出する企業と連携して、「福崎町なっ得商品券」(プレミアム商品券)の継続的な発行

【取組んだ内容】

福崎町内の消費拡大及び地域中小企業者への振興、活性化を図ることを目的として、平成11年度から毎年「なっ得商品券(10%プレミアム商品券)」を発行している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策事業として20%のプレミアム付き総額108,000千円を発行した。会員向けDM発送、町内新聞折込で商品券発行周知等、商品券加盟店の募集案内を行い、本事業を充実させた。本事業実績については以下の通り。なお令和3年度は総額120,000千円を発行予定である。

- ・使用期間：令和2年8月6日～令和3年1月15日(6ヶ月間)
- ・発行総額：108,000千円(完売)
- ・加盟店舗数：139店舗
- ・換金額：107,717千円(換金率99.74%)

【評価・コメント】

評価	コメント
A	完売出来ており、十分な実績が認められる。(荒木)
A	町内の消費拡大、地域経済の振興に大きく役立っており、今後も継続して取り組んでいただきたい。(久保)
A	新型コロナウイルス感染症対策事業として、充実した活動であったと推察でき、評価できる。(佐藤)
A	コロナ対策事業として、事業者への売上応援と住民支援として取り組んでいただきありがとうございました。事業量も増大し大変だったと思います。ご苦労様でした。(成田)
A	コロナ対策事業となり、プレミアム率がアップし、発行総額も大きくなりましたが、完売し、加盟店数も増加という結果は評価されます。今後も域内消費の拡大のため継続されるよう町当局との連携をお願いします。(小林)

2. 福崎町、観光協会等と連携した福崎町特産の「もちむぎ麺」の販路拡大、民俗学の父「柳田國男」を活用した観光産業への支援

【取組んだ内容】

新型コロナウイルス感染症の拡大により毎年実施していた夏まつり、産業祭、各種イベントへが中止となったため、令和2年度においては、もちむぎ商品の販売、販路拡大事業は取組んでいない。

【評価・コメント】

評価	コメント
-	(評価不要)

3. 日本遺産「鉱石の道・銀の馬車道」を活用した地域おこし

【取組んだ内容】

銀の馬車道ネットワーク協議会(所管：中播磨県民センター)へ参加を行い、

中播磨地区商工会連絡協議会として「銀の馬車道観光&グルメガイド」を2,000冊作成し、姫路市内の旅館やホテル、観光案内所などに配布した。ガイドには、銀の馬車道沿線の観光スポットの紹介や105店舗（福崎町は24店舗）の飲食店等を紹介している。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	町内の店舗を数多く紹介されており、十分な実績が認められる。（荒木）
A	ネットワークを活用し、地域の観光資源を積極的に発信していることは評価できる。 現状、インバウンドは大きく落ち込んでおり、今後は地域のネットワークをさらに活用し、広範な情報発信など国内需要の取り込みの推進に取り組んでいただきたい。（久保）
A	地域おこし活動の実績について評価したい。（佐藤）
A	辻川観光交流センターの馬車模型のお披露目式に会長のご参加をいただきました、ありがとうございます。今後も銀の馬車道の魅力発信について、町と連携して取り組んでください。（成田）
A	インバウンドから国内消費者とターゲットが変わりましたが、引き続き、域内消費の拡大につながる事業を継続されるよう連携をお願いします。（小林）

4. 地域イベント「ふくさき産業祭」の充実

【取組んだ内容】

11月に予定されていた産業祭は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

【評価・コメント】

評価	コメント
-	(評価不要)

5. JR福崎駅周辺における商業の活性化

【取組んだ内容】

令和2年10月に福崎駅前にある町有地にウエルシア（ドラッグストア）が出店。兼ねてから懸案事項であった、福崎駅前に商業施設を誘致して欲しいという要望について不動産業を営んでいる会員企業を通じ町へ紹介を行っていた。

ウエルシアオープンに合わせて「ふくさきルミネール」（イルミネーション）を10月～1月にかけて点灯し福崎駅周辺の賑わいを演出した。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	福崎駅周辺の賑わい創出についても、十分な実績が認められる。（荒木）

A	駅前商業施設の誘致目標を達成し、「ふくさきルミネール」を点灯、駅前の活性化に成果をあげている。(久保)
A	賑わい演出を通じた商業の活性化活動の実績について評価したい。(佐藤)
A	駅前に住民要望が高かったドラッグストアがオープンしたことは嬉しいことです。今後も駅前発展にご協力ください。(成田)
A	集客できるドラッグストアの誘致を皮切りに、周辺の空き家・空き店舗の有効活用等にも取り組んでいただきますようお願いします。(小林)

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組 (12～13P)

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(事業内容)

① 広域支援機関との連携

【取組んだ内容】

兵庫県商工会連合会において、事務局連絡会が4回開催され出席。県連及び他の商工会の取組等情報交換を行った。特に新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた中小企業を支援するための施策等県下28商工会地域の独自の施策を取りまとめられており、大変参考となった。

また、中播磨地区商工会において、中播磨県民センターと商工会との懇談会を2回開催し、センター長等へ新型コロナウイルス感染症による管内事業者への支援策に対する意見や令和3年度予算に対する要望等を行った。

事業としては、中播磨地区商工会で労働環境対策事業に取組み、80社を掲載した企業ガイドブックを3,000冊作成し、県内の大学、高校等に配布。銀の馬車道観光&グルメガイド(英語表記)を2,000冊作成し、姫路市内のホテル、旅館、観光施設等に配布した。また、4商工会で事業所を募り東京ギフトショーへ出展する計画を行っていたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

兵庫県商工会連合会	事務局連絡会議	4回
中播磨地区商工会連絡協議会	事務局会	2回
中播磨県民センターとの懇談会		2回
企業ガイドブック作成		80社 3,000冊
銀の馬車道観光&グルメガイドブック		105社 2,000冊

【評価・コメント】

評価	コメント
A	広域支援機関との連携についても、十分な実績が認められる。(荒木)
B	新型コロナの影響で一部計画が中止となったものの、広域支援機関との連携は目標どおり進められており、個社支援においても評価できる。(久保)
A	商工会の取組等情報交換等により支援ノウハウ等の共有されたことなどを評価したい。(佐藤)
A	コロナ対策として、町と連携して支援いただきました。小規模事業者応援金事業では申請受付業務にあたっていただき、ありがとうございます

	ました。(成田)
A	関係機関との連携にも積極的に取組み、得られた情報を商工会事業に取り込んでいます。引き続き、この取組みを継続いただきますようお願いします。(小林)

② 専門家及び兵庫県よろず支援拠点との連携

【取組んだ内容】

兵庫県よろず支援拠点と連携して11月14日、21日の2日間に渡り、「起業チャンスアップセミナー(創業セミナー)」を開催した。参加者は3名であったが、経営、財務、人材育成、販路開拓について学び、創業計画書の作成を行った。

また、各種専門家派遣制度を活用して小規模事業者の課題解決や事業計画策定支援、販路開拓やIT支援を行った。延べ専門家派遣件数は116件。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	セミナー参加者が少ないが、延べ専門家派遣件数については、十分な実績が認められる。(荒木)
A	新型コロナ禍における創業セミナーの開催や専門家派遣については非常に評価できる。今後は創業だけでなく、事業承継などの事業継続支援への取組みをさらに推進していただきたい。(久保)
A	県よろず支援拠点との連携実績について評価したい。(佐藤)
B	コロナによって困っておられる事業者の方への相談・支援ができています。(成田)
A	コロナ対策の窓口相談等の実施に加え、個社支援にも積極的に取り込んでいます。引き続き、この取組みを継続いただきますようお願いします。(小林)

③ 地域金融機関との連携

【取組んだ内容】

- ・福崎町商工会が開催する創業セミナーを特定創業支援事業として地域金融機関と連携して開催した。
- ・なっ得商品券(プレミアム付き商品券)発行時に換金手数料を無償とし、地域商業の活性化に協力していただいた。
- ・みなと銀行福崎支店のショーウィンドウに福伸電機が作成した妖怪ベンチマップと観光案内版を設置し、福崎駅から辻川公園他妖怪ベンチマップへの観光に繋げた。
- ・新型コロナウイルス感染症により影響のあった企業からの融資相談について民間金融機関の無利子融資の紹介を行った。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	地域金融機関との連携についても、十分な実績が認められる。(荒木)
A	地域金融機関とは情報交換にとどまらず、創業や事業者支援、地域活

	性化などでの連携にも取り組み成果をあげている。今後も継続して地域連携を進めていただきたい。(久保)
A	地域金融機関との連携実績について評価したい。(佐藤)
B	コロナによる経営悪化になった事業者から、セーフティーネットを利用された件数が200件以上もあったので、その指導・助言が大変だったと思います。(成田)
A	金融機関との連携にも積極的で、地域振興に取り込んでいます。引き続き、この取り組みを継続いただきますようお願いします。(小林)

④株式会社日本政策金融公庫姫路支店との連携

【取組んだ内容】

毎年、姫路市商工会、日本政策金融公庫姫路支店との共催で開催している「一日金融公庫」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。しかし、公庫制度融資であるコロナ特貸については公庫職員との関係性を密にし、会員事業所の資金調達においてスピーディーに対応した。

また、計画にある公庫職員が同行して事業所を訪問する事については担当職員同士で実施に向けて調整していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた支援による無利子貸付の対応に追われ実施できなかった。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	日本政策金融公庫との連携についても、十分な実績が認められる。(荒木)
A	新型コロナの影響で一部計画が実施できなかったものの、新型コロナ禍における資金繰り支援などにスピーディーに対応しており、公庫とのしっかりとした連携は非常に評価できる。(久保)
A	これまでの連携実績により関係性が構築されていることを評価したい。(佐藤)
C	計画どおり進めてください。(成田)
C	コロナ禍の影響で、未実施となったことは仕方ないかと思います。引き続き、会員事業所等の資金調達のために公庫との連携を継続して続けていただきますようお願いします。(小林)

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ①兵庫県商工会連合会等が主催する職責、相談業務、経営支援に必要な専門知識の習得と課題解決に向けた提案力を身に着ける為の研修に年2回以上参加し、経営実態の把握や経営状況の把握及び経営計画策定など、小規模事業者の利益確保に繋がる支援能力の習得を図る。また、他の参加者の支援事例や講師の専門性を見極め、専門家活用におけるコーディネート力の向上に努める。

【取組んだ内容】

受講日	受講者	講座名	内容
6/17	鷲尾孟彦	労務研修会	・労働保険・その他改正点について ・演習 -労働保険編-

			<ul style="list-style-type: none"> ・雇用調整助成金について
7/7	鷲尾孟彦	情報発信担当者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・「商品の価値を言葉でどう伝えるか」 ・「広報ジャーナリストが支援で実践！ホームページで情報発信」 ・「いいね！で拡散！SNSを用いた情報発信」
7/15、7/16	船田和夫	経営革新計画策定支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・経営革新計画の概要について ・経営革新計画に向けた取組みについて ・新たな価値創造の視点について ・経営革新計画策定の進め方について ・ロールプレイング演習 ・経営革新計画書類作成 ・経営革新計画グループ発表、フィードバック
8/19	大道裕子	創業支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルの構築（フレームワークの活用）について ・創業事例紹介について ・兵庫県起業家支援事業の活用について
8/21	安本直美 宇崎恭平	共済担当者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・知ったく情報“生命保険と税”について ・公的年金の“いままで”と“これから”について ・商工貯蓄共済システムの操作方法について
9/16	宇崎恭平	コミュニケーション能力研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・コーチング ～傾聴し承認でモチベーションを高め、質問で課題・真意を探る～ ・アサーティブコミュニケーション ～相手への敬意と自身の尊重を両立した伝え方～
9/28	木村真一	経営支援事例発表兵庫大会	<ul style="list-style-type: none"> ・事例発表研修 ・経験をもとに伝わるプレゼンや発表事例のその後、企業支援に対する思いや姿勢などについて講演
9/29	大道裕子	総務・経理担当者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会会計事務について ・商工会の法人税、消費税及び税務申告について
10/7	安本直美 鷲尾孟彦	コミュニケーション能力研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・コーチング ～傾聴し承認でモチベーションを高め、質問で課題・真意を探る～ ・アサーティブコミュニケーション ～相手への敬意と自身の尊重を両立した伝え方～
10/9	鷲尾孟彦	BCP 策定研	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP 策定について

		修	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP マニュアル、様式ツール集の概要について ・BCP 策定ワークショップ
10/19	大道裕子	共済事業事務手続等研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・商工貯蓄共済の事務手続きについて
10/21	安本直美	事業継承支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継税制の理解について ・中小企業の事業承継支援業務と実践 ・事業承継支援に関する事例について
10/26	安本直美	共済事業事務手続等研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉共済・安全共済の事務手続きについて
10/29	船田和夫	助成事業担当者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度各助成事業の報告等の留意点について ・令和3年度各助成事業の公募と留意点について ・申請書の書き方、審査時のポイントについて ・助成事業活用事例
11/5	安本直美	共済事業事務手続等研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉共済、安全共済の請求手続きについて
11/10	船田和夫	データ活用研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・統計データを活用する経営支援について ・中小機構の経営支援お役立ちツールの紹介 ・経営発達支援事業実施状況調査システムの導入について
11/13	鷲尾孟彦	第2回労務研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革と同一労働同一賃金の導入支援について ・コロナ禍における事務所への労務管理支援について ・小規模事業者等へのテレワーク導入支援について
11/16	安本直美	共済事業事務手続等研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・休業対応応援共済の事務手続きについて
12/2	宇崎恭平	税務研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会職員が知っておくべき税務知識について ・消費税申告指導について ・その他改正点について
12/8	大道裕子 船田和夫	タイムマネジメント研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上とタイムマネジメントについて ・生産性向上と仕事のムダとりについて

			<ul style="list-style-type: none"> ・組織での問題、課題解決の進め方について ・改善事例紹介とまとめ
12/16	安本直美 大道裕子 鷲尾孟彦 船田和夫 宇崎恭平	小規模事業者持続化補助金 WEB 説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告提出時の留意点について
12/16	木村真一 安本直美 大道裕子 鷲尾孟彦 船田和夫 宇崎恭平	職協セミナー「商工会のリモートワーク」	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会のリモートワークについて

【評価・コメント】

評価	コメント
A	経営指導員の資質向上については、十分な実績が認められる。(荒木)
A	新型コロナ禍においても経営指導員等の支援能力の向上にかかる研修が計画的に実施されており、資質向上への積極的な取り組みが評価できる。(久保)
A	職員が種々の資質向上に努めていることを評価したい。(佐藤)
B	知識力の向上に努めている。今後の指導に役立ててください。(成田)
A	コロナ対策支援等、業務量が増加するなか、計画通り職員研修に取り組んでいただいています。引き続き、会員事業所等の支援に繋げるため、職員の資質向上の取り組みを継続いただきますようお願いいたします。(小林)

- ② 職員の職務歴に応じて中小企業大学校が主催する研修に年1回参加する。

【取組んだ内容】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出席予定の講座が中止となり令和2年度は研修会に参加していない。

【評価・コメント】

評価	コメント
-	(評価不要)

- ③ 創業支援に必要な機関の研修を受講し、支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

受講日	受講者	講座名	内容
8/19	大道裕子	創業支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルの構築（フレームワークの活用）について ・創業事例紹介について

			・兵庫県起業家支援事業の活用について
--	--	--	--------------------

【評価・コメント】

評価	コメント
A	創業支援に必要な研修受講についても、十分な実績が認められる。(荒木)
A	創業支援にかかる支援力向上の研修は計画どおり受講されている。新型コロナ禍においては、創業支援にかかる支援力のさらなる向上が求められることから、継続して取り組んでいただきたい。(久保)
A	研修の受講実績について評価したい。(佐藤)
B	計画どおり遂行している。(成田)
A	令和2年度は、コロナ禍の影響により県起業家支援事業は商工会等を經由しなくても申請できましたが、令和3年度からは今まで通り、商工会等が内容を確認して申請する形に戻ります。関係機関からの信頼に応えるため、職員の資質向上の取り組みを継続いただきますようお願いいたします。(小林)

- ④小規模事業者等に専門家を派遣する際には、担当職員が同行し、専門家の指導、助言ノウハウなど高度な支援力を学ぶ。

【取組んだ内容】

小規模事業者等の多種多様な専門的課題を解決するため、中小企業診断士や社会保険労務士、税理士、弁護士、ITアドバイザー等の専門家派遣に職員が同行し、フォロー及び専門家の支援内容について共有化を図った。また、職員を対象とした専門家派遣にてプレスリリースの手法について研修を行い支援力の向上を図った。

派遣制度名	件数
兵庫県商工会連合会チーフアドバイザー派遣制度	44
兵庫県商工会連合会課題別経営サポート支援事業	29
兵庫県商工会連合会情報発信支援員 (ITアドバイザー)	3
兵庫県商工会連合会制度改正に伴う専門家派遣事業	20
福崎町商工会ポストコロナ労働環境対策事業	19
中小企業庁ミラサポ専門家派遣制度	1
合計	116

【評価・コメント】

評価	コメント
A	専門家派遣の職員同行について、十分な実績が認められる。(荒木)
A	専門家派遣制度を有効に活用している。職員が専門家と同行して高度な支援力を学ぶ良い機会になっており、今後の個社支援に大いに役立つ。職員向けのプレスリリース研修も事業者支援には必要なスキルである。今後も継続して高度な支援力の向上に取り組んでいただきたい。(久保)

A	専門家の支援ノウハウを学ぶ行動について評価したい。(佐藤)
B	計画どおり遂行している。(成田)
A	令和2年度は前年に比べ、実績が大きく伸びています。令和3年度以降も、引き続き、専門家派遣を活用した質の高い伴走型支援を継続いただきますようお願いいたします。(小林)

- ⑤ベテラン職員は、支援経験の少ない職員が伴走型支援を行う際に、専門家のコーディネートや支援手法などOJTにより育成に努める。

【取組んだ内容】

受講日	受講者	講座名	内容
10/15 11/12	木村真一 安本直美 大道裕子 鷲尾孟彦 船田和夫 宇崎恭平	伴走型支援のための職員研修 ～あり方を見つめ、自らの限界突破～	津田税理士(元CA)による伴走型支援についての講義 ・全員の紹介と本日のゴールコメント ・経営指導員の個社支援等の課題について ・課題解決Q&A(相互支援形式) ・本日の気づき等の感想

【評価・コメント】

評価	コメント
A	講座の受講により、十分な実績が認められる。(荒木)
A	ベテラン職員等による伴走型支援にかかる職員育成は計画どおり実施されている。(久保)
A	OJT実績について評価したい。(佐藤)
B	計画どおり遂行している。(成田)
A	会員事業所等からの信頼に応えるため、職員の資質向上の取り組みを継続いただきますようお願いいたします。(小林)

- ⑥商談会や展示会、アンテナショップに出展する小規模事業者に同行し、バイヤーとの交渉や消費者へのPR方法などを通じ、マーケティングに対してのスキルや支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により、商談会や展示会の出展を見送ったため、バイヤーとの交渉や消費者へのPR方法などを通じたマーケティングに対してのスキルや支援力の向上は図れなかった。

【評価・コメント】

評価	コメント
-	(評価不要)

<情報共有による資質向上>

- ①支援に関する巡回時の記録、事業者の経営状況分析結果等を経営カルテとして蓄

積し、情報の共有化を図ることで経営支援体制を構築する。

【取組んだ内容】

日々の巡回や窓口対応での記録を経営カルテとして残し、事業所ごと、また指導内容区分等の分類および検索を有効活用し、職員全体で共有することにより、必要な時に誰もが対応、活用できるよう支援体制の整備を行った。また、これらのデータ共有が会員事業所への経営支援の基礎資料として活用でき、組織全体における支援能力の向上を図った。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	カルテ作成など情報共有について、十分な実績が認められる。(荒木)
A	経営カルテの蓄積、共有化は会員支援にかかる重要な取り組みであり、商工会の財産になる。さらに情報の蓄積、共有化を進め、新型コロナ禍における経営支援に役立てていただきたい。(久保)
A	経営カルテの活用により支援能力を高めていることを評価したい。(佐藤)
B	経営支援体制の基盤づくりに努めてください。(成田)
A	コロナ対策支援等、業務が多様化し、また業務量が増加しているなか、会員事業所等の支援を効率的、効果的に実施するには、属人的な対応から組織的な対応にしていくことが必要となってきました。引き続き、職員間の情報共有を進めていただきますようお願いいたします。(小林)

- ②支援会議を月1回の頻度で開催し、実際に関わった支援の進捗状況、専門家派遣の内容報告を共有し、支援先の優先順位などを含め全員で意見交換し、支援ノウハウと意識の共有化を図る。

【取組んだ内容】

支援会議を月1回開催し、小規模事業者に対する支援状況について共有を行った。

実施日	議題
5月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請の分担について ・その他について
6月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請進捗について(申請内容共有・専門家派遣内容報告) ・事業計画等策定について ・その他について
7月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請進捗について(申請内容共有・専門家派遣内容報告) ・経営発達支援事業 実績状況調査について ・金融機関との研修会について ・事業計画等策定について ・その他について
8月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請進捗について(申請内容共有・専門家派遣内容報告) ・経営発達支援事業 実績状況調査について

	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関との研修会について ・事業計画策定について ・その他について
9月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請進捗について(申請内容共有・専門家派遣内容報告) ・事業計画等策定について ・金融機関との研修会について ・その他について
10月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗について ・職員研修会について ・その他について
11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗について ・プレスリリースについて ・職員研修会について ・小規模支援システム経営発達支援実施報告機能について ・その他について
12月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗について ・令和3年度県連受託事業要望調査について ・会員事業所向け事業継続計画(BCP)ヒヤリングシートの活用について ・その他について
1月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗について ・令和3年度県連受託事業要望調査について ・その他について
2月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗について ・令和3年度県連受託事業要望調査について ・その他について
3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗について ・創業セミナーについて ・緊急事態宣言の影響緩和に係る一次支援金の概要について ・その他について

【評価・コメント】

評価	コメント
A	支援会議の開催についても、十分な実績が認められる。尚、令和3年4月に、神河町商工会の支援会議で、私が事業再構築補助金の制度を説明し、職員との情報共有を図る機会を、試験的に設定した。福崎町商工会においても、必要があれば支援会議に呼んで頂いても構いませんので、ご検討ください。(荒木)
A	支援会議においては、小規模事業者の支援状況や方向性などを全職員で共有、検討しており、職員の支援ノウハウの向上はもちろん、広い視野での個社支援への取り組みが評価できる。(久保)
A	定期的に支援ノウハウと意識の共有化を図っていることを評価したい。(佐藤)
B	コロナ対策としての補助申請手続き、支援・助言などで、町も情報共

	有ができた。(成田)
A	前項と同様、会員事業所等の支援を効率的、効果的に実施するには、属人的な対応から組織的な対応にしていく必要があります。引き続き、職員間の情報・ノウハウ共有を進めていただきますようお願いいたします。(小林)

③職員会議を月1回の頻度で開催し、研修等で習得した小規模事業者の支援事例や支援に有効なノウハウを紹介し共有化を図る。

【取組んだ内容】

職員会議を月1回開催し、事業に対する職員への共有を図った。

実施日	議題
4月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・経営発達支援事業評価委員会について ・通常総代会について ・会報「やまもも」発行について ・県連主催の職員研修出席予定について ・「働き方改革」個別相談窓口について ・記帳機械化担当について ・その他
5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業計画について ・「商工会特設ダイヤル」持続化給付金等・福崎町小規模事業者応援金制度窓口対応について ・なっ得商品券について ・源泉指導について ・健康診断実施事業について ・その他
6月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・なっ得商品券について ・源泉指導について ・健康診断実施事業について ・中播磨地区商工会連絡協議会事業について ・10月発行商工会報について ・その他
7月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業について ・その他
8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業について ・その他
9月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業について ・その他
10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業について ・その他
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業について ・その他
12月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業について ・その他

1月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業について ・その他
3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事務分掌（案）について ・年度末・年度初について ・福崎町飲食店等持続化応援金制度について ・令和3年度「なっ得商品券」について ・労働保険年度更新について ・経営発達支援事業について ・その他

【評価・コメント】

評価	コメント
A	支援ノウハウの共有について、十分な実績が認められる。（荒木）
A	職員会議における研修等のノウハウの共有は職員の支援力向上につながっている。今後も継続して取り組んでいただきたい。（久保）
A	支援事例や支援に有効なノウハウを定期的に共有化していることを評価したい。（佐藤）
A	コロナに負けず、今後も町内の持続可能な商工業振興に努めてください。（成田）
A	こちらも前項と同様、働き方改革への対応も含め、業務を効率的、効果的に実施するため、職員間の情報・ノウハウ共有を進めていただきますようお願いいたします。（小林）